

# 介護概論

《担当者名》鈴木 真人 s-masato@hoku-iryo-u.ac.jp

## 【概要】

1. 介護福祉士として実践するために、多様な介護現場での利用者の生活の安全を守るべくセーフティマネジメントを展開するための基礎的な力を培う。利用者の安全を守るためには、介護従事者自らの健康や安全が保障されるべきである。このことへの認識を深め、介護における安全を確保するための知識・技術、事故防止や安全対策、感染対策、緊急時対応、介護従事者の健康管理などについて学ぶ。
2. 介護実践する上で必要な管理的側面について、働く施設そのものの管理とは何か、施設で働く組織人としての管理とは何かを学ぶとともに、福祉・医療チームにおける介護福祉士の役割と倫理性のあるケアに繋げる感性を醸成する。

## 【学修目標】

1. セーフティマネジメントの基礎力と技術を習得し、介護専門職として、利用者の安全な生活を支える質の高い介護ケアへ繋がっていくような意識づけができる。
2. 介護従事者として、自己の健康管理に必要な知識と技術を習得する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	この科目の概要と学習目標、学習内容、スケジュールなどについて確認する。ゲーム形式で行うチームワーク力を試す。(グループ演習)	鈴木
2	介護施設における組織	組織とは何か、介護施設における組織についての基本的知識を理解することができる。	鈴木
3	介護施設における組織	組織構成、組織理念・目標、組織文化および組織分析について理解することができる。	鈴木
4	介護施設における組織	組織分析について理解し、説明することができる。SWOT分析を実施(演習)	鈴木
5	介護サービス	サービスの本質について理解することができる。顧客満足と職員満足について学び理解し、説明することができる。	鈴木
6	介護サービス	サービスと職業倫理の関連性について学び、倫理意識が持てる。	鈴木
7	介護サービス	サービスマネジメントについて具体的な内容について学び、イメージができる。	鈴木
8	介護職における倫理	倫理とは何かについて理解し、説明することができる。	鈴木
9	介護職における倫理	介護現場に必要な倫理意識を高め、事例を通して倫理観について説明することができる。	鈴木
10	介護職の人材管理	新人職員の教育、フォローアップについて理解することができる。 「自分はこういう教育を受けたい」(演習) ビジネスマナーの必要性について理解し、説明することができる。	鈴木
11	介護職の人材管理 キャリア開発	継続教育と専門職のキャリア開発について理解することができる。 リーダーシップとは何かを理解し、説明することができる。	鈴木
12	介護職の人材管理	リーダーシップをとる上での自己の特性や傾向について理解することができる。	鈴木
13	介護職の人材管理	マネジメントについて理解し、自己の行動を振り返る。(動画視聴)	鈴木
14	介護施設の運営	介護施設における運営について理解することができる。 ・施設運営に当たるマネジメント	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設職員としての社会貢献</li> <li>・施設における改革と改善</li> </ul>	
15	介護施設の運営	<p>介護施設の役割について学び、具体的な役割を見出すことができる。(グループ演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生としての役割</li> <li>・地域に根ざした施設のあり方</li> <li>・ボランティアの受け入れ</li> </ul> <p>理想の組織をつくる(グループ演習)</p>	鈴木
16	介護施設の運営	<p>介護施設の役割について学び、具体的な役割を見出すことができる。(グループ演習)</p> <p>理想の組織(グループ演習)発表</p>	鈴木
17	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護に関するリスクマネジメントの意義	訴訟等の事例を用い、介護事故と法的責任について学び、介護における安全の意義とリスクマネジメントについて理解することができる。	鈴木
18	介護における安全の確保とリスクマネジメント リスクマネジメントの実際	介護に関するリスクマネジメントを理解し、危機意識が持てる。 介護虐待・身体拘束などの事例を通して、リスクマネジメントの実際について理解することができる。	鈴木
19	介護における安全の確保とリスクマネジメント 事故防止、安全対策	セーフティマネジメントについて理解し、説明することができる。 アンガーマネジメントなどの方法を学び、理解することができる。	鈴木
20	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護施設における災害対策	防火・防犯対策と訓練について事例を使用し学び、介護施設の災害対策を理解し、災害対策意識が持てる。	鈴木
21	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護施設における感染対策	介護施設の感染対策を理解し、感染対策意識が持てる。	鈴木
22	介護における安全の確保とリスクマネジメント 薬剤の取扱いに関する基礎知識と連携	薬剤耐性の知識、安全な薬物療法を行う視点、連携について理解し、説明することができる。	鈴木
23	協働する多職種の機能と役割 多職種連携の必要性	多職種連携・協働の必要性を理解し、説明することができる。 多職種連携・協働に求められる能力を理解し、説明することができる。	鈴木
24	協働する多職種の機能と役割 保健・医療・福祉職の役割と機能、多職種連携の実際	介護福祉職と協働する様々な職種について学び、多職種協働に関わる専門職の役割と機能を理解することができる。 多職種連携・協働の実際を学び、イメージできる。 外国人労働者について理解することができる。	鈴木
25	介護従事者の安全 健康管理の意義と目的、こころと身体 の健康管理	介護従事者の健康管理の意義を理解し、説明することができる。	鈴木
26	介護従事者の安全 介護従事者の健康管理	介護従事者の健康管理について理解し、説明することができる。	鈴木
27	介護従事者の安全 こころの健康管理、ストレスマネジメント	ストレスとこころの健康との関係について理解し、説明することができる。 こころの健康管理(ストレスチェック等)について理解することができる。	鈴木
28	介護従事者の安全 労働環境の整備	労働条件の整備について理解することができる。 労働環境整備の必要性が理解することができる。	鈴木
29	地域包括ケアシステムにおける介護職の役割	地域包括ケアシステムの構築と実現に向けて、介護職が行う役割について理解し、具現化するために何をすべきか考えることができる。	鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
30	まとめ	この科目の授業の振り返りとまとめ レポート課題について説明	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート80% グループワークと演習20%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新介護福祉士養成講座 介護の基本 第2版』中央法規 2022年

【参考書】

授業時に必要な資料等をプリントで配布する。

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護の基本」に該当する。

【学修の準備】

予習は、新聞・ニュースなどによく目を通し、介護問題について理解しておくこと（2時間）。

復習は、講義を受けて視点を変えて社会の事象を考え、理解すること（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実身につける身につける

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている

【実務経験】

看護師

【実務経験を活かした教育内容】

臨床などでの実務経験を活かし、介護職の役割や実践、チームマネジメント・リスクマネジメントなど実践的な教育を行う。